

## 令和元年度第5回長野市災害復興計画検討委員会

日 時：令和2年3月27日（金）午後3時30分から午後4時35分まで

場 所：第一庁舎5階 庁議室

出席者：委 員 長野市災害復興計画検討委員会委員名簿のとおり

（北村委員代理として長野市商工会議所徳武事務局長出席）

（神農委員欠席）

事務局 倉石総務部長、酒井企画政策部長、清水財政部長、増田地域・市民生活部長、樋口保健福祉部長、小林保健所長、北原こども未来部長、宮尾環境部長、高橋商工観光部長、倉島文化スポーツ振興部長、倉島農林部長、小林建設部長、羽片都市整備部長、竹内教育次長、西澤上下水道局長、島田消防局長、鎌田危機管理防災監、望月公有財産活用局長、丸山復興局長、復興推進課職員

### 1 開会

### 2 委員長あいさつ

### 3 議事

#### 【事務局】

市民意見等の募集（パブリックコメント）結果及び復興計画案について説明

#### <質問・意見>

#### <委 員>

河川の改修や住宅の再建など、緊急度の高いものから検討し、情報の検証が一番最後になってしまうのは仕方のないことである。災害に関する情報の取扱いについて重要なことは言うまでもないが、今回の災害の情報をどのように集め、どのようなものが集められなかったのか、また、どれだけの情報が判断にまわされ、どのような指示がどのように住民へ伝わったのか。そのような内容について、調査を行い、うまくいったことは評価し、うまくいかなかったことは修正をする。今後のシステムの修正に繋がるような検証を何回か行い、そのシステムを実際の防災訓練などで、自治会の皆さんなどに実際に使ってもらい、皆で評価していくことが重要である。時間の無い中で、復興計画の中で触れられないのは仕方のないことであるが、今後の課題として、情報に関する更なる調査を実施し、それに基づいた防災システムや運用体制の見直し、また、修正した防災情報システムを用いた防災訓練の実施を検討いただきたい。私も協力させていただく。

#### <鎌田危機管理防災監>

大変、ありがたいお話をいただいた。今までに調査した中で、防災システムに修正すべき点があることは認識している。今後、委員会の皆様などのお力を借りながら、協力・連携し良いものにしていきたい。

#### <副委員長>

12月末に設置された、長野市生活支援・地域ささえあいセンターの活動実績について報告させていただく。仮設住宅750戸のうち679戸(90%)を訪問し、365戸(49%)と面会を行った。高齢者夫妻を訪問した時の意見として、自宅を再建するにも自宅ローンが組めないとか将来の介護費用に不安があるなどの意見が出ていた。また、今現在住んでいるアパートに住み続けて良いものかどうか、費用的に再建した方が得なのか悩んでいる人もいる。「住宅相談で年代に応じた再建方法を紹介する必要がある」という報告を受けている。それから公営住宅は、応急修理を前提としており、1年の期限付きということを知らなかったという人もいた。被災された方は、常に焦燥感を持っている。住宅再建は、一生を左右する選択であり、スピード感を持ちつつも納得した選択ができるような配慮が必要である。当初は建て直す予定であったが、費用が2000万円近くかかると言われてリフォームにした方や、初めからリフォームを選択していた方も見積りを取ってみたら意外と高くつくといった現状もあるようである。悪徳なリフォーム業者ではないかと思われるような高額の請求をされてしまった方もいる。現在、住宅再建の需要が多く、適正価格や適正業者を見極めることが必要ではないかという意見もあった。現在、サロン活動も始めているが、2月に朝陽団地で実施したサロンでは、13名の方にご参加いただいた。孤独感を抱えている被災者の皆様に対し、ハンドマッサージやカラオケなど実施することで、大変喜んでいただけたということである。今後、他地区でもサロン活動を実施していく予定であるが、コロナの影響により開催をどうしたら良いか、関係者で協議した結果、安全も大切であるが、被災者の心のケアも重要であると観点から、小規模でのサロン活動を実施することにした。また、発災から半年が過ぎようとしている中で、被災者の皆様からのご意見として、この災害が忘れ去られるのが心配という声も聞こえている。被災者のご家族の中でも意見の食い違いがあり、新たな課題が生まれてきているという現状もある。また、高齢者の中には災害後に体調悪化などにより施設入所してしまった方もいる。災害直後は緊急の支援が必要であったが、今後は人生の再建に対し、長期的な支援が必要になると思われる。

#### <早川委員>

すばらしい計画になった。67ページの第5章として地区別計画の内容も具体的になり、それぞれのロードマップも大変分かりやすくなった。ロードマップの期間が先延ばしにならないように、しっかり進捗管理していただきたい。

<事務局>

検討委員会の任期は2年であり、今後の進捗管理もお願いしていくことになる。委員会の中で、ある程度のスパンを区切って進捗管理していく機会を設けていきたい。

<委員>

地域の方から地域公民館の修繕を早くやっていただきたいという意見が多いが、修繕するためのお金が集まらず、修繕できずに困っている。パブリックコメントの回答の中に「地元負担金の一部を県のコミュニティ復興支援交付金の活用を含めて検討したい」とあり、そういった検討が早く進めば良いと考える。

<事務局>

被災に遭った地域公民館については、補助率及び限度額の上限を引き上げ運用している。しかしながら、どうしても自己負担は残ってしまうので、県のコミュニティ復興支援交付金を早めに予算化し、全額カバーできるか分からないが、極力地元負担が少なくなるよう支援していきたいと考えている。いつ頃から、公民館を使いたいかということを含め、一度、市の担当課へ相談いただきたい。

<委員>

復興計画はどのように具体的に実践していくのか。また、いつ頃、どのような形で公表するのか。その推進体制は誰がどのように引っ張っていくのか。今確定しているのは令和2年度予算だけであるが、令和3年以降もロードマップに沿ってしっかり取り組んでいただきたい。

<事務局>

本日、答申になると、4月2日に開催される市の意思決定機関である部長会議にて決定後に公表していく予定である。カラー版で委員の皆様へ送付する予定であり、概要版も作成予定である。今後の推進体制については、担当課が中心に各事業を進めていくが、公共施設の復旧など未定の部分は、その都度、地元との協議の中で進めていくことになる。来年度以降の予算についても、予算化できた時点で、公表していきたいと考えている。

<委員>

農業関係で一言申し上げたい。復旧においては、天候の関係もあり、予定より早く進んできているが、ある問題が出てきている。現在、農業公社において、被災農地の利用状況調査をやっており、3月2日にその結果が出た。主体は長沼・豊野地区とその堤内地になるが、貸したい人は21haで、借りたい人は5haという結果になっている。優良農地

が16haも余ってしまう計算である。今後、いかに放棄された農地を荒らさないようにするかが、課題であると考えている。過日、中野市にお住まいの方から2haの水田地帯で野菜を作りたいという話があった。その他、小布施にお住まいの方で、りんご、もも、なしなど果樹園として借りたいという話もきている。近隣市町村の方からも協力をいただきながらやっていきたいと思っている。

#### <委員>

被災者からすると、復旧が無い限り復興はない。半年経って、今後どうしようかという人が出てくる。治水対策に対して心配している人が多い。1人の力ではどうにもならないので、行政の力を借りなければ復旧・復興は進まない。また、行政も、国・県・市が連携していかないと前には進んでいけないとあらためて感じている。現在、出水期に向けて河川の工事が進んでいる。被災地域の住民にとって、工事が進むほど安心感が増して、がんばろうという気持ちが出てくる。今回、復興計画がまとまり、今後、進んでいく道筋が示され、ありがたいという気持ちを持っている。5年間とは言わずに、復旧に関しては1日も早く完了するように期待している。計画ができたから終わりということではなく、ここから皆で力を合わせて頑張っていくことが大切であるので、事務局には今後のとりまとめもお願いしたい。

#### <委員長>

復興計画では、細かいところまで言い尽くしている訳ではないが、先程、事務局から進捗管理をしていくという話があった。今後の検討委員会の中で、途中経過なども報告いただければ良いと思う。千曲川についても、現在、立木伐採や河道掘削など、どのような状況か教えていただけると、被災者の皆さんが安心すると思うが如何か。

#### <木村千曲川河川事務所長>

千曲川の災害復旧等の進捗状況については、河川事務所のホームページで、工事の前後が写真で対比できるような形で週1回更新している。実際に見に行かなくても、河川の工事状況を確認いただくことで、少しでも被災者の皆様の安心感につながればと考えている。また、国としても工事が少しでも早く進むよう一生懸命取り組んでいきたい。

#### <委員>

復興計画は大まかなものである。この中の言葉をどのように解釈すればよいか、分からない部分もあるが、今後、もっと詰めて良い形にしていくことが大切である。治水対策でシミュレーションした結果、決壊がなければ豊野地区は大丈夫だったというが、それだけでは安心できない。特に千曲川、浅川の問題は、具体的に地区の皆さんに安心してもらえようような説明をしていただきたい。内水対策の関係は、浅川流域という話になると思うが、

堤防の嵩上げなど具体的な話をしていただかないと、地元は納得できない。今後、検証し、その結果を地区で説明していただきたい。個々の地区の問題は、それぞれあると思うが、千曲川の問題は長野市全体の問題であるため、もう少し地元の要望を聞いた中で検討をお願いしたい。あと、集会所について、上限を360万円に引き上げたが、当地区が被災した地域公民館のうち2つは、1000万円以上かかるため、360万円ではとても間に合わない。屋根まで浸水し、壊したい集会所もあるが、限度額の問題もある。あと、固定資産税が上がることから壊せないでいるお宅も多い。豊野地区は、都市計画区域内であり税金が高い。全壊、大規模半壊という住宅だけでも良いので、1年間は土地の固定資産税を減免するなどお願いしたい。

#### <委員長>

この委員会以外に、地区の対策委員会もあるとお聞きしているので、そちらの意見も取り入れながら、しっかり復興に取り組んで行っていただきたいと思います。この後、復興計画案を答申させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

#### 4 委員長挨拶

#### 5 答申

※「長野市復興計画の策定について（答申）」のとおり

委員長が答申書を読み上げ、市長へ手渡す。委員の皆様には答申書の写しを配布する。

#### 6 市長挨拶

#### 7 閉会（丸山復興局長）